

Maxwell[®] RSC Cultured Cells DNA Kit (カタログ番号 AS1620) 簡易マニュアル

ご用意いただくもの

- ピпетteman (P-200、P-1000)とそれらのチップ

前処理の手順

培養細胞：

最大400μlの培地に、最大 5×10^6 個の細胞を調製する。

グラム陰性菌：

最大400μlの培地に、最大 2×10^9 個の細胞を調製する。

グラム陽性菌：

1. 遠心操作により、最大 2×10^9 個分の細胞ペレットを回収する。
2. 300μlのTE Bufferで懸濁する。
3. 100μlのリゾチーム (25mg/ml)を加える。
4. 37℃で30分間のインキュベーションを行う。

カートリッジの準備

1. 検体数分のカートリッジをMaxwell[®] RSC/CSC Deck Trayに立て、順にアルミシールを剥がす。

カートリッジの両端がカチッというまで、しっかりとセットする

注意：サンプル数が16より少ない場合には、Maxwell[®] RSC/CSC Deck Trayの中央部分をお使いください。

2. 同数のElution Tubeをセットし、100μlのElution Bufferを加える。

Elution Bufferは60~150μlを加えることができます。ただし、60μlの場合、磁性ビーズの持ち込みの割合が高くなります。Elution Bufferのボリュームを増やすことによりキャリアオーバーを減少させることができます。

Elution Tubeのフタは絶対に閉めないでください。

3. カートリッジのウエル8に、プランジャーを置く。



4. 調製したサンプルを、カートリッジのウエル1に添加する。その後、10回以上のピペッティングにより、完全にウエル1での攪拌を行う。

ウエル1は最も大きなウエルです。カートリッジラベルに一番近く、Elution tubeからは最も遠い位置にあります。

5. Maxwell RSC Instrumentを起動し、STARTから『Cultured Cells DNA』を選択する。
6. Maxwell[®] RSC/CSC Deck Trayを、Maxwell[®] RSC本体にセットし、精製操作をスタートする。

精製終了後の操作

1. Maxwell RSC[®] Instrumentのドアを開け、Elution Tubeのフタを閉める。
2. Maxwell[®] RSC/CSC Deck Trayを取り出し、Elution Tubeを適切に保管する。
3. Maxwell RSC[®] Instrumentのドアを閉める。カートリッジとブランジャーを廃棄する。

備考：

- 精製工程が終了後、Elution Bufferの量は約10～20μl程度減少します。
- Elution Tube内に、磁性体ビーズはいくぶん残存します。Elution Bufferの量を増やすことにより、残存量を軽減できる可能性があります。